令和5年度
樹木と緑化の総合技術講座

開催日

○前期講座（WEB 配信）

令和５年６月１日(木)～7 月１７日(月)

（期間中繰り返し視聴可能）

○後期講座（現地実習）

令和５年９月４日(月)～７日(木)

主　　催

○一般財団法人　日本緑化センター

後　　援

○公益社団法人　日本造園学会
○樹木医学会
○一般社団法人　日本植木協会
○一般社団法人　日本樹木医会
○一般社団法人　日本造園組合連合会
○一般社団法人　日本造園建設業協会
○一般財団法人　日本造園修景協会
○一般社団法人　ランドスケープコンサルタンツ協会

こんな方におすすめします

- **樹木や緑化などみどりに関心のある方**
- **企業や行政の新人研修の場を探している方**
- **専門技術者でもう一度基礎から学びたい方**
- **樹木医試験など資格取得に挑戦したい方**

■受講者の声

○有名講師の先生方の講義を繰り返し視聴することができて本当によかった。
○基礎知識から最近のタイムリーな問題まで幅広く学べてよかった。
○難しい講座かもしれないと心配だったが、わかりやすく楽しい説明だったのでとても勉強になった。
○樹木や草花について幅広く色々な事が学べて楽しかった。
○全体を通して最新の知見に基づいた講義が多く、とても有益でした。書籍の販売も充実していて、受講者に対しての配慮が細部になされていました。
○造園の立場、樹木医としての立場、研究者としての立場など、それぞれの立場からの話を聞くことができ、心より感謝しています。自分ももっと勉強して高い専門性を身に付けたいと思いました。受講させてくれた会社の計らいに感謝したいです。
○「樹木医の手引き」を執筆されている先生が担当されている講座もあり、直前の知識の定着として非常に有意義でした。
○お話はどれも興味深く面白かったのですが、動画の収録時間が短い先生もいて、もっともっとたくさんお話を聞いていたかったです。
○今回受けた講義をもう一度整理し、今後の仕事に生かせるようにしていきたいと思った。
○現場を点検する際に見るべき所や、植栽時の留意点についても学ぶことができ、非常に勉強になった。
○樹木に現れた病徴が、生理的なメカニズムの面からもわかるようになり、体系的に学べるよい機会となりましたし、仕事を進める上でも大きな手助けになると思います。
○様々な職種の方がそれぞれの目的を持って受講しており、いい意味で刺激を受けました。

この講座は造園 CPD・樹木医 CPD の認定プログラムです。
講座内容は当センターホームページでご覧いただけます。
http://www.jpgreen.or.jp/event/jyumoku_ryokka/index.html

≪はじめに≫

近年、社会環境が激しく変動する中で、求められる森林・緑地の役割も、地域環境の改善や生活空間の改善、景観アメニティの向上などの身近な視点で考えるものから、地球環境保全や生物多様性保全、防災力の強化などのよりスケールの大きな視点で取り組むべきものまで多様化しています。

このように多様化されたニーズに対応していくためには、樹木に関わる科学的知識と緑化に関する最新の知見に基づいた総合的な学習の場が求められています。

以上から、本講座は、樹木と緑化などのみどりに深く係わる様々な主体の皆様を対象として、一般の方にもわかりやすいカリキュラムで構成し、緑化事業の適正な実践のための基礎が学べるものとしてスタートし、今年で 24 回目を迎えます。

本講座では、樹木の生態から緑化技術、維持管理技術など、樹木と緑化に関わる基礎知識を修得するとともに、樹木の生態や構造、維持管理の必要性を理解し、現場での様々な課題を解決するための手法をトータルで学ぶことができます。

是非、**みどりに関心のある方はもちろん、行政担当者の新人研修や専門技術者の基礎の見直しの場としてご活用いただきますよう**、参加のご案内を申し上げます。

１．開催日時・場所

本講座は前期と後期に分けて開催いたします。

（１）前期講座

１）配信期間：令和５年６月１日（木）～７月１７日（月）

２）場所：WEB 配信（ライブ配信ではありません。ご都合のよい時間に繰り返し視聴できます）

（２）後期講座

１）期間：令和５年９月４日（月）～９月７日（木）

２）場所：ホテルマークワンつくば研究学園 リベラホール

（〒305－0817 茨城県つくば市研究学園 5-13-5　TEL.029-875-7272）

(有)古平園（〒300-3262 茨城県つくば市蓮沼 10）

国立科学博物館 筑波実験植物園（〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1）

つくば市研究学園駅前公園（〒305-0818 茨城県つくば市学園南 2-1）

２．受講料（税込）≪前期≫11,000 円／日、≪後期≫16,000 円／日、８日間（以上）受講‥1 割引

※ **受講料は原則として前払いです。**

※ テキスト代を含みます。

※ 宿泊費・交通費は含みません。

※ 受講は１日単位（前期は１コースを１日とします）です。科目単位での受講はできません。

※ **同一会社内複数同時のお申し込みで合計８日間以上の参加については１割引きとなります。**（詳しくはお問い合わせください。賛助会員割引との併用はできません。）

※ **日本緑化センター賛助会員の受講料は上記受講料の２割引きです。**貴社にて日本緑化センター賛助会員についてご確認のうえ、賛助会員の方は受講申込書に法人名を記入してください。（８日以上参加割引との併用はできません。）

※ 後期昼食代金は受講料に含まれます。ただし、昼食を希望しない場合の返金はしません。

※ 後期については新型コロナウイルス感染状況に応じて「中止」となる可能性があります。やむを得ず「中止」となった場合は後期分を全額返金させていただきます。

３．「自然再生技術研修会」として位置づけ（http://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/p07.html#houhou2）

この講座は「自然再生士登録更新対象講座」として位置付けています。前期４コースのうちいずれか２コース以上を受講すると、自然再生士登録更新要件となります。

対象者は自然再生士８期1979番～10期2384番、有効期限2026年3月31日までの自然再生士（失効者を含む）です。自然再生士更新対象の皆様へ「令和５年度自然再生技術研修会 修了証」を発行しますので、受講申込書に自然再生士登録番号をご記入ください。更新時期については修了証・備考欄をご覧ください。自然再生士登録更新には別途申請手続きが必要です。

4．「緑サポーター養成研修」として位置づけ（http://www.jpgreen.or.jp/supporter/index.html）

この講座は「緑サポーター養成研修」として位置づけています。本講座を６日以上受講し、規定の登録申請書の提出および登録料を納付すると“緑サポーター”として登録します。“緑サポーター”とは、樹木医の指導の下で緑の保全に関する相談、指導等の補助的な活動を行う者です。平成11年から開始され、令和５年３月１日現在1,481名（登録者）が緑サポーターとして登録され、そのうち25名が樹木医となり活躍しています。“緑サポーター”に登録後、樹木医の指導の下で年間30日間活動を行うと樹木医研修受講者選抜試験の一年分の実務経験となります。緑化関係以外の職業の方も樹木医試験にチャレンジし樹木医になる道が開けます。ただし、**日本緑化センターは（一社）日本樹木医会との取り決めにより樹木医を紹介することはできません。**ご指導いただく樹木医はご自身でお探しいただきます。

5．定員　≪前期≫定員なし、≪後期≫４０名／日

6．宿泊　≪後期≫講座に参加される方は、各自、最寄りのホテル等をご利用下さい。

7．参加申込み

参加ご希望の方は**「受講申込書」**に所定の事項をご記入の上、**≪前期≫令和５年７月７日（金）まで、≪後期≫令和５年８月２１日（月）までに**、FAX または郵便またはメールにてお申し込み下さい。後期につきましては定員になり次第締め切ります。

8．前期講座テキストおよび URL の送付について

受講料の入金確認後、**令和５年５月２６日（金）以降にテキストをご指定のご住所へレターパックライトで郵送、配信 URL をメール送信します。**（送付先の住所及びメールアドレスは、間違いが無いように、わかりやすい文字で、大きく丁寧にお願いします。）

9．後期講座における感染症対策の基本方針

新型コロナウィルス感染症の対応につきましては、段階的にガイドライン等が示されてきたところですが、後期講座開催時において、現時点では定かではありません。今年度の感染症対策につきましては、必要最低限の以下の方針で行います。変更等がある場合には、別途お知らせします。

後期講座における感染症対策の基本方針
①　後期講座開催中は、全員のマスク着用を徹底します。 ②　スタッフ・受講生の検温を実施します。 ③　アルコール消毒薬を設置し、手指等の消毒を徹底します。
受講できないケース（以下に該当する場合、受講はお控えください）
①　当日自宅で検温を実施し、37.5 度以上の発熱があった場合。 ②　発熱をしていない状態でも、息苦しさや倦怠感などの症状や心身の不調を感じる場合。 ※講座受講料は、原則として当方の責により受講できなかった場合を除き、返還いたしません。

上記ルールを守れない方は、ご受講いただくことができませんので注意してください。

10．受講のキャンセルについて

受講を事前キャンセル（ｷｬﾝｾﾙ締切：前期５月２５日、後期：８月２８日）された場合は受講料をお返しいたします。ただし、受講通知発送等事務手数料（2,000 円（税込）・資料印刷代を含む）および返金のための振込手数料（実費）をご負担いただきます。

11．申込み・問合せ先

一般財団法人日本緑化センター緑化事業部（講座担当：小田川）
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-2-29　K,I,Hﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ 2F
TEL:03-6457-5218（講座）／FAX：03-6457-5219／Email：sougouk@jpgreen.or.jp

令和5年度（2023）　樹木と緑化の総合技術講座スケジュール

＜前 期＞

WEB配信（配信期間中は繰り返し視聴可能です）

①コース	**①-1（104分）**		**①-2（93分）**		**①-3（73分）**		**①-4（127分）**
	植物の生育環境と その分布 濱野 周泰 （東京農業大学客員教授）		**植物の構造と生理生態** 福田 健二 （東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授）		**植物（樹木）の特徴と その取扱い特性** 金澤　弓子 （東京農業大学 造園科学科 准教授）		**樹形の意味** 堀　大才
②コース	**②-1（75分）**		**②-2（86分）**		**②-3（91分）**		**②-4（125分）**
	「造園植栽」に不可欠な一貫性 －設計～監理～マネージメント－ 山本 紀久 （㈱愛植物設計事務所 会長）		**土壌の基礎知識と植栽基盤 としての望ましいあり方** 水庭 千鶴子 （東京農業大学 造園科学科 教授）		**植栽工事に係る基本的な考え方と 配植･植え付けのポイント** 山下　得男 （株式会社富士植木）		**樹木管理に係る基本的な考え方 と育成･維持管理** 内田 均 （元東京農業大学 地域創成科学科 教授）
③コース	**③-1（129分）**		**③-2（71分）**		**③-3（62分）**		**③-4（84分）**
	芝及び地被植物の基礎知識と 育成･維持管理 髙橋 新平 （東京農業大学造園科学科 教授）		**草本植栽の基礎知識 ～東京都内の公園に学ぶ～** 奥　峰子 （（公社）園芸文化協会常務理事 ㈲ホリーホックガーデン代表）		**野生の草花と里山の再生** 麻生 嘉 （（一財）日本緑化センター 主任研究員）		**農薬の取り扱い方法 の基礎知識** （(独)農林水産消費安全技術センター 農薬検査部農薬有効性審査課 検査管理官）
④コース	**④-1（88分）**		**④-2（103分）**		**④-3（88分）**		**④-4（95分）**
	緑化樹木の腐朽病害 阿部 恭久 （元日本大学 生物資源科学部 教授）		**樹木の病害の基礎知識** 金子 繁 （元(独)森林総合研究所 関西支所長）		**樹木の虫害の基礎知識** 北島 博 （(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林研究部門 森林昆虫研究領域		**樹木のリスク管理の 現状と課題** 細野 哲央 （（一社）地域緑花技術普及協会 代表）

【前期（WEB 配信）】講座概要

	講義科目・講師名	講義のポイント	受講者の声（参考）
①コース	**植物の生育環境とその分布** NEW **濱野　周泰** 東京農業大学 客員教授	**植物の生育に係る環境要因**を確認するとともに、**植物の自然分布や植栽分布**について解説する。	○環境や気候区分と植物の生育について、非常に分かりやすい語り口で解説されるので、とてもわかりやすかった。
	植物の構造と生理生態 **福田　健二** 東京大学農学生命科学研究科教授	**植物を構成する各エレメントの構造**を確認するとともに、**植物の生長の仕組み**を解説する。	○植物の生理生態から光合成のメカニズムまで、非常に高度な内容だったが、話がおもしろく引き込まれ、かなり興味が出た。
	植物樹木の特徴とその取扱い特性 **金澤　弓子** 東京農業大学造園科学科准教授	**植物としての樹木の特徴**と**植栽や管理するうえでの特性**について、都市の代表的な樹種を通して解説する。	○樹木とは何か、生物学的にどのような位置付けにあるのか、その基本的な知識が丁寧な語り口で解説され、理解が深まった。
	樹形の意味 NEW **堀　大才**	樹木は立地環境に適応するため状態を変え、樹形となって表れる。**樹形の意味を読み取ることで、樹木の活力診断や危険度診断を行う方法**について解説する。	○樹木の診断のベースとして、カルテや診断フォームによるものではなく、むしろ樹木の形の意味を読み解くことが重要で、その基本的な見方を理解することができた。
②コース	**「造園植栽」に不可欠な一貫性** **-設計～監理～マネージメント-** **山本　紀久** ㈱愛植物設計事務所 会長	**植物の配植設計に係る基本的事項**を解説するとともに、**植栽工事における設計監理のポイント**を解説する。	○書籍「造園植栽術」をベースとして、その重要なポイントを絞って構成されており、ランドスケープアーキテクトとして必ず押さえるべき基本を学ぶことができた。
	土壌の基礎知識と植栽基盤としての望ましいあり方 **水庭　千鶴子** 東京農業大学造園科学科 教授	**土壌学の基礎や植物との係わり**を確認するとともに、**植栽基盤としての望ましいあり方（物理性・化学性）**を解説する。	○土壌の基礎知識はもちろん、樹木の植栽基盤としての土壌とは何か？また、その状態を評価するための調査方法まで学べたのがよかった。
	植栽工事に係る基本的考え方と配植・植え付けのポイント NEW **山下　得男** ㈱富士植木ｺﾐｭﾆﾃｨｰﾋﾞｼﾞﾈｽ推進部長	**植栽工事を実施する際に留意すべきポイント**について、現場からの視点でその技術や創意工夫について解説する。	○実際の現場で行われる植栽工事や移植工事に馴染みがなかったので、造園の世界で培われてきた技術力や受け継がれてきた創意工夫に驚いた。
	樹木管理に係る基本的考え方と育成・維持管理 NEW **内田　均** 元東京農業大学地域環境科学部教授	**植物の管理を行っていくための基本的考え方**を確認するとともに、**育成管理・維持管理に係る留意事項**を解説する。	○樹木の管理、特に剪定についての様々な事例と、街路樹における塗布剤や支柱のあり方に至るまで、様々な根拠に基づき解説され、目から鱗の講義であった。
③コース	**芝及び地被植物の基礎知識と育成・維持管理** NEW **高橋　新平** 東京農業大学造園科学科教授	**芝草及び地被植物の特性**を確認するとともに、現場での事例を踏まえ、**育成管理等に係る留意事項**を解説する。	○芝についての知識に乏しかったので手頃な講義を探していたが、芝の様々な品種の紹介からその維持管理方法までが解説されており、とてもよかった。
	草本植栽の基礎知識-東京都内の公園に学ぶ- NEW **奥　峰子** (有)ホリーホックガーデン代表取締役	**草花植物の特性**を確認するとともに、様々な公園で行われた植栽の実績を例に、**花壇の植栽・管理に係る留意事項**を解説する。	○先生の軟らかな語り口で草花の魅力が存分に紹介され、実際にこの講義で紹介された庭園や公園に行ってみたくなった。たぶん見る目が変わると思う。
	野生の草花と里山の再生 NEW **麻生　嘉** （一財）日本緑化センター	**野生の草花の特性**を確認するとともに、過去に関わった多様性豊かな**里山環境を再生するためのポイント**を解説する。	○主に里山と草地管理に主眼が置かれ、非常にマニアックな内容ではあるが、自分のように山の植物が好きな人間にとっては非常に楽しい講義だった。
	農薬の取り扱い方法の基礎知識 NEW （独）農林水産消費安全技術センター 農薬検査部	樹木を対象とした**農薬の安全・的確な取り扱い方、農薬登録情報データベースの役割と利用方法、総合防除（IPM）の基本的な考え方**について解説する。	○農薬は造園業者であれば避けて通れない分野であるが、その概要を理解する意味では、この講座は最新の知見を学べるので、現場レベルで非常に役に立った。
④コース	**緑化樹木の腐朽病害** NEW **阿部　恭久** 元日本大学生物資源科学部教授	樹木の倒木等の大きな原因のひとつである**木材腐朽病害について、そのメカニズムや見分け方**、その対策等について解説する。	○代表的な腐朽病害について、そのメカニズムや特徴を詳しく学べたので、やっとクライアントに倒木のリスクや必要な対策について、正しく説明することができると思う。
	樹木の病害の基礎知識 NEW **金子　繁** 元森林総合研究所関西支所長	**樹木等に害を与える主な病原の特性と生育への影響と**、その対策について解説する。	○樹木の病害は資料を読んでも頭に入ってこなかったが、講義で系統立てて解説されていたため、やっと知識として定着した。
	樹木の虫害の基礎知識 NEW **北島　博** 森林総合研究所森林昆虫研究領長	**樹木等に害を与える主な虫害の特性と生育への影響**と、その対策について解説する。	○樹木の虫害は苦手とする分野の一つで、そもそも虫がいないと判別できなかったが、虫がいない時期でも、発生時期やフラスの特徴、脱出口の大きさなどから、ある程度想定できる事に驚いた。
	樹木のリスク管理の現状と課題 NEW **細野　哲央** 一社地域緑花技術普及協会代表	樹木の安全管理をとりまく現状、**例えば倒木事故等の問題点や課題**について、実際の事例をもとに解説する。	○樹木の倒木は社会問題になっており、それが裁判沙汰になっているケースも多いので、行政担当者として、これまでの訴訟事例をきちんと理解しておくことはとても重要である。

※令和４年度に配信した内容をリニューアルしたものは NEW と表示しています。

令和5年度（2023） 樹木と緑化の総合技術講座スケジュール

＜後 期＞

ホテルマークワンつくば研究学園（1Fリベラホール）、㈲古平園 圃場、筑波実験植物園、研究学園駅前公園

月日＼時刻	8:15	8:50	9:00～11:00	休憩	11:15～12:45	昼食	全員バス移動	14:00～16:30	～17:00	全員バス移動
9月4日（月）		受付・注意事項説明	**都市樹木の点検の実際** 細野 哲央 （（一社）地域緑花技術普及協会代表） 場所：マークワンつくば		**植栽基盤の調べ方（座学）** **～現状の把握と改善方法～** 川九 邦雄 (㈲テラパックス・テクニカ代表取締役) 場所：マークワンつくば			**植栽基盤の調べ方と改善方法（実習）** **～長谷川式等調査器具の使い方がわかる～** 川九 邦雄 場所：㈲古平園 圃場	質疑応答	

月日＼時刻	8:15	8:50	9:00～10:15	休憩	10:30～11:45	昼食	全員バス移動	13:00～16:00	～16:30	全員バス移動
9月5日（火）		受付・注意事項説明	**樹木の病害診断と対策・座学** 金子 繁 (元(独)森林総合研究所関西支所長) 場所：マークワンつくば		**樹木の虫害診断と対策・座学** 北島 博 ((国研)森林研究・整備機構森林総合研究所森林研究部門森林昆虫研究領域長)			**樹木の病害診断と対策・実習** 金子 繁 **樹木の虫害診断と対策・実習** 北島 博 2班に分かれ2回同時開催 場所：筑波実験植物園	合同質疑応答	

月日＼時刻	8:15	8:50	9:00～12:30	昼食	13:30～17:00	全員バス移動
9月6日（水）	全員バス移動	受付・注意事項説明	**樹木剪定の実際** 古平 貞夫 (㈲古平園 代表) 場所：㈲古平園 圃場		**樹木移植の実際** 山下 得男 (㈱富士植木 取締役 ｺﾐｭﾆﾃｨｰﾋﾞｼﾞﾈｽ推進部長) 場所：㈲古平園 圃場	

月日＼時刻	8:15	8:50	9:00～12:30	昼食	13:30～15:30	休憩	15:50～17:00
9月7日（木）		受付・注意事項説明	**樹木診断実習（カルテ作成）** 堀 大才 場所：つくば市 研究学園駅前公園・マークワンつくば		**樹木診断実習（発表）** 堀 大才 場所：マークワンつくば		**樹勢総合診断** **実施事例の解説** 堀 大才 場所：マークワンつくば

※講師及び場所については当日一部変更することもあります。ご承知おき下さい。

【後期（現地実習）】講座概要

	講義科目・講師名	講義のポイント	受講者の声（参考）
9/4 月	**都市樹木の点検の実際** **細野　哲央** （一社）地域緑花技術普及協会代表	**樹木等の安全管理をとりまく現状の問題点や改善策**について、事例に基づき具体的に解説する。	○樹木の点検の重要性を痛感した。 ○行政として、樹木を悪者にしたくないので、定期的な点検の実践がいかに重要かを理解できた。
	植栽基盤の調べ方 **（座学）現状の把握と改善方法** **（実習）長谷川式等調査器具の使い方がわかる** **川九　邦雄** ㈲テラパックス・テクニカ代表取締役	緑化植物の生育を大きく左右する**植栽基盤整備の設計・施工・管理について、具体的なデータと実例**をもとに、各事業段階で必要な調査のポイント、進め方についてわかりやすく解説する。 午後の部では、**野外において各種の調査機器の使用方法と手順、使用時の留意事項を解説する**とともに、そこで得られた調査データの解析を行う。	○長谷川式土壌貫入計、長谷川式透水試験器、山中式土壌高度計など、測定機器の一連の使用方法について体験できた。 ○その場でPC出力したものを見ながら、土壌硬度の変化をすぐに確認できることに驚いた。 ○はじめて測定機器に触れることができてよかった。植栽基盤の重要性を改めて認識できた。
9/5 火	**樹木の病害診断と対策** **金子　繁** 元森林総合研究所関西支所長	実習を通じて、**緑化木に発生する病害の病原とその生態や、その防除対策**などを解説する。実際に樹木の葉、枝、幹、根に表れる病斑や病徴を見学する。	○最初に標本を使った講義を受けた後、実験植物園に行ったのがよかった。 ○木の葉や幹、枝に発生する様々な病徴を、葉の斑点や色、幹や枝の異常（腐朽・瘤）などを直接見ながら、観察する部位や場所、診断ポイントなどを学ぶことができた。 ○マツノザイセンチュウをはじめて見ることができて感動した。
	樹木の虫害診断と対策 **北島　博** 森林総合研究所森林昆虫研究領長	**緑化木に発生する虫害の見分け方と診断のポイント、その対策**などを解説する。木の葉や幹、土の中などに産み付けられた虫の卵、幼虫や蛹、食害痕などを直接観察し、その特徴を解説する。	○木の葉や幹、土の中などに産み付けられた虫の卵、幼虫や蛹、食害痕などを直接見ながら、観察する部位や場所、診断ポイントなどを学べたのがとても勉強になった。 ○発生時期、穿入孔、フラス、脱出口の経常から、昆虫を想定するのが探偵みたいでおもしろかった。 ○マツノマダラカミキリやカシノナガキクイムシをはじめて見ることができて感動しした。
9/6 水	**樹木剪定の実際** **古平　貞夫** （有）古平園 代表	**各種の剪定の手法について、実演を通して解説するとともに、実際に受講者がその一部を体験する。**例えば、基本剪定では、冬期剪定や、基本樹形の骨格枝を作る手法を学ぶ。また、軽剪定や夏期剪定など、樹幹の乱れや混み過ぎを直すための剪定手法を学ぶ。常緑樹や落葉樹の特性を活かした剪定手法を実演し、剪定の留意点を解説する。	○はじめて脚立に登り、剪定鋏を使ったので緊張したが、講師の指導で安全にこなす事ができた。積極的に剪定作業を実践していました。 ○剪定によって高垣の印象が大きく変わることにびっくりした。
	樹木移植の実際 **山下　得男** ㈱ 富士植木 ｺﾐｭﾆﾃｨｰﾋﾞｼﾞﾈｽ推進部長	**各種の高木移植の手法について、実演を通して解説するとともに、実際に受講者がその一部を体験する。**例えば、根回しと掘取については、根回しは鉢径の決め方、断根法、林試移植法の手順を学ぶ。掘取については、掘り下げ、整根、枝抜きの手順を学ぶ。併せて、昨年実施した林試移植法による根回しの一年後の発根状況を確認する。	○断根法でも大量に発根していたのでびっくりした。 ○剥皮部の根元側から集中的に発根しているのが、教科書のイラストと同じで感動した（造園コンサル）。 ○思ったよりも形成層が堅いのに驚いた。木部を傷つけずに取り除くのが難しかった。 ○チオファネートメチル剤やインドール酪酸などの塗布剤をかなり贅沢に塗るので驚いた。薬剤代がばかにならないと思った。
9/7 木	**樹木診断実習** **堀　大才**	**樹木の健康度・衰退度・危険度の決め手となる診断項目毎の判定要領、カルテの作成方法、総合判定の考え方と手順**について実習を通して解説する。 受講者はグループに分かれ、樹木診断を実施する。その結果をグループ毎に整理し、診断結果を発表する。その後、発表内容について講師の見解を踏まえ、受講者全員で意見交換を行う。	○診断した経験がないので不安だったが、グループに樹木医さんがいたので安心した。 ○わからないところは講師にその都度質問することができてよかった。 ○診断結果の発表は緊張したが、自分の班はみんなで分担して項目毎に発表したのでよかった。また講師のアドバイスは、診るべきポイントが適切でためになった。

※講師及び内容について一部変更することがあります。

令和５年度 樹木と緑化の総合技術講座 受講申込書（申込期限：前期 7/7・後期 8/21 迄）

【前期講座（WEB）留意事項】▼必ずお読みください。

① 前期講座は WEB 配信方式の講習会です。WEB 上で動画を視聴できる方のみを対象としています。
② 配信期間は R05/6/1(木)～7/17（月）です。配信期間中はご都合の良い時間帯で繰り返し視聴可能です。
③ 配信 URL は、5/26 以降（ご入金確認後）にメール送信します（併せてテキスト送付時にも同封します）。
④ 配信 URL 送信後のキャンセルはできません。受講料の領収書はテキスト送付時に同封します。
⑤ 社内で複数の方の申し込みが可能です。一人一枚で全員分同時にお申し込みいただくと割引対象となります。

【後期講座（対面式）留意事項】▼必ずお読みください。

① 新型コロナウイルス感染状況に応じて「中止」となる可能性があります。やむを得ず「中止」となった場合は後期分を全額返金させていただきます。
② 各日の昼食代金は受講料に含まれます。ただし、昼食を希望しない場合の返金はいたしません。

【申込者】▼太枠内すべてご記入ください。細枠内は対象者のみご記入ください。（令和５年　　月　　日）

ふりがな		前期コース（１コースにつき 11,000 円）	コース①	コース②	コース③	コース④
氏　名						
賛助会員	法人名（　　）	後期コース（１日につき 16,000 円 昼食付）	9/4	9/5	9/6	9/7
樹木医登録番号						
自然再生士登録番号		造園CPD会員№（12 桁）				

受講料の振込票　貼付欄

★この太枠内に振込票の控えを貼付してください。

・**受講料は前払いです。**以下の計算式によりお支払いください。※割引の併用はできません。
　〇参加日数が計８日以上で１割引です。〇賛助会員は参加日数に関係なく合計から２割引です。
　前期 11,000 円×（　　）コース+後期 16,000 円×（　　）日＝合計（　　）円
・振込票の控えをこちらに貼付するか、下記の表に必要事項をご記入ください。
・支払いに請求書が必要な場合は「総合講座事務局（小田川）」までご連絡ください。

≪振込先≫

銀　行		
振込銀行名		三菱ＵＦＪ銀行　本店（００１）
預金の種別		普通預金
口座名	受取人名カナ	ザイ）ニホンリヨツカセンター
	受取人名	一般財団法人日本緑化センター
口座番号		１７０５４３５

郵便局	
口座記号口座番号	００１９０－６－５８８４４７
加入者名	（一財）日本緑化センター
通信欄	樹木と緑化の総合技術講座受講料

★ネットバンキングをご利用の方・振込票を紛失された方は、下表にご記入ください。

振込名義										
振 込 日	令和			年			月			日
振 込 先	（三菱UFJ銀行 ・ 郵便振替）←振り込んだ方を〇									
振込金額										

【テキスト送付先】▼受講テキスト・配信URLの送付先となります（必要事項をすべてご記入ください）。

担当者名	（　　）←申込者と異なる場合にご記入ください。		
住　所	（□自宅・□勤務先） 〒	勤務先名称：（　　） （　　）部・課まで	
TEL		FAX	
E-mail	**（受講URL送信のため必須）**		

【申込提出先・問い合わせ先】▼メール、FAXのほか、郵送も可とします。

（一財）日本緑化センター総合講座事務局（小田川）〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-2-29　K,I,H ﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ 2F
E-mail；sougouk@jpgreen.or.jp、FAX；03-6457-5219（到着確認の連絡はご遠慮ください）